

職員紹介コーナー



2階主任代理 若野 洋一さん

ご利用様がより快適な生活を送れるように、主任と共に介護スタッフの育成や現場の全体把握を行っています。今後も、職員一人ひとりがやりがいと誇りをもって仕事に取り組めるよう協力していきます。また、他職種との連携を図りより良い介護サービスが提供できるように努めていきます。



3階主任代理 安福 篤史さん

日々、ご利用様に笑顔で楽しい施設生活を送っていただけるよう、努力しています。ご利用者様から「ありがとう」と言ってもらえることにやりがいを感じています。ご利用者様が今、何を望んでいるのか、何をしたいのかを考え、視野を広く持ち、仕事に取り組んでいきたいと思ひます。

お知らせ

入所者様との面会について

新型コロナウイルスのまん延を防止するため、県からの要請を受け、入所者様との面会は、ガラス越しにて行っております。

※面会場所 正面玄関北口(ガラス越し)

ワイヤレスインターフォンにて会話していただきます。

※面会時間 10分程度

※原則として事前予約ですが、当日も受付します。ただし、時間帯などによっては対応できず、お断りする場合がございますのでご了承ください。

※今後のコロナウイルスの状況によっては対応を変更させていただくことがあります。

(1月1日現在)



1月、2月、3月の床屋さん

1月・・・7日(木)、22日(金)

2月・・・4日(木)、19日(金)

3月・・・4日(木)、19日(金)

居宅介護支援事業所のお知らせ

介護に関してのご相談などがございましたらお気軽にご連絡下さい。

介護保険ご利用の

お手伝いをさせていただきます。

(電話：0584-88-1775)

デイケアご利用の方には、健康チェック表や体温チェック表などのご記入にあたり御理解と御協力をいただきましてありがとうございます。

サットヴァ便り

発行日 2021年1月1日

編集・発行 社会福祉法人 三縁の会

介護老人保健施設 サットヴァの園

〒503-0965 岐阜県大垣市多芸島1丁目127-1

http://sattova.info



サットヴァの園

検索



サットヴァ便り



理事長の挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新型コロナ感染は、第3波で全国的に大都市部を中心に感染が急拡大し、岐阜県においてもいくつかのクラスターが発生し、感染者が増加しています。第3波拡大阻止のため、感染防止対策の徹底は極めて重要です。当施設では、施設長を中心に感染対策委員会の委員が感染防止対策担当者(ぎふコロナガード)として活動しています。ご家族様には、入所者様と面会についてガラス越しで行っておりますことご理解をお願いします。また、ご利用者様のレクリエーションも外部からボランティアの皆様に来ていただくことが難しいため、レクリエーション委員会を中心にアイデアを凝らしてご利用者様に楽しんでいただけるようにしています。

このように、コロナ対策には職員が一丸となって尽力しております。団塊の世代がこれから後期高齢者の仲間入りし、社会保障費の急増が避けて通れません。このような背景のもと、老健施設は、介護保険法で在宅復帰、在宅療養を支援する施設として位置づけられ、介護報酬上も、在宅復帰、在宅療養支援機能を評価する指標が組み込まれています。このような、老健施設の重要な役割を果たすとともに、地域に選ばれる施設づくりを目指していきます。

皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 三縁の会 理事長 河野 秀明

施設長の挨拶

新年おめでとうございます。

新型コロナウイルスの第3波と思われる感染者数の急増で不安な年末を過ごされたと思います。新年を迎えても、心から喜べないと感じる方が多いのではと推測しています。終わりが見えない感染拡大の不安があっても、明かりも見えて来ました。去年、1年間の感染症との戦いで、少しずつ病気の実態がわかり、疾病への対応も日々進歩しています。その中で最も希望が持てるのは、ワクチンの開発です。既に実用化が承認され、この原稿を書いている12月の初めの情報では12月の第2週からイギリス、アメリカ、ロシアではワクチン接種が開始されると報道されています。日本でもこれらのワクチン供給量は契約で確保されており、近いうちにワクチン接種が出来るようになることが期待されています。初めてウイルスに感染すると、ウイルスに抵抗する免疫が出来上がるまでに2週間ほどかかります。その間にウイルスとの戦いに負けてしまう場合があります。ワクチンを接種していると免疫が出来上がり、ウイルスに感染しても4-5日で抗体が出来上がり、強化された免疫力でウイルスを撃退出来るようになります。強化された免疫力は少なくとも半年以上は持続すると実証されていますが、試験で接種した人のデータの取得が進めば、さらに長い期間免疫が持続することも実証されると期待しています。マスクをして手指の消毒をすること、3密を避ける、旅行、会食を自粛するなど政府が示した対応策を遵守することが、いかに効果があるかは多くの点で実証されています。一番良い証拠は、似たような呼吸器感染症であるインフルエンザウイルス感染症が、このような対応のおかげで例年に比べて激減していることです。ワクチン接種まで自分で出来る感染対策を遵守して、希望をもって新しい年を生き抜きましょう。

サットヴァの園 施設長 江崎 孝行

デイケア レクリエーションの様子

構外活動に出掛けられない分、デイルームでお菓子とコーヒーや紅茶、ココアを提供したり、職員が作ったおしるこを飲んで、温まっていたきました。

お仲間さんと話をしながらいただくお菓子はとても美味しく感じられるようです。



ご利用者様に季節を感じてもらおうと、ポインセチアの色塗りや書道、しめ縄作りを行いました。

綿棒を使って絵の具を塗ったり、筆で半紙に新年に向けての言葉を書いたりするのは、程よい緊張があって楽しいものです。

出来上がった作品は廊下に飾らせていただき、職員、ご利用者様の癒しの場になっています。



ご利用者様のリハビリの様子を紹介

普段は車椅子を使用しているご利用者様が平行棒で歩く練習をしたり、片麻痺のあるご利用者様がお手玉運びの作業訓練をしたりしています。一生懸命な姿に心をうたれます。



転倒防止のため、自転車こぎや階段昇降訓練で下肢筋力をつけたり、木製パズルを使って脳トレに取り組んだりしています。

ご利用者様の状態によって、それぞれメニューが異なりますが、出来なかった事が少しずつ出来るようになると職員もうれしく思います。



フロアレク

2F フロアレク

おやつレクにて、ホットケーキを作りました。おやつは楽しみの1つで、全部食べられるのか心配でしたが、気が付くとペロリと食べていました。

皆さん、「美味しかったよ」と笑顔で応えてくれました。



3F フロアレク

紅組、白組にわかれての運動会。お手玉を使った風船ゲーム。お菓子つかみ競争。

ご利用者様も職員も子供にかえった楽しい運動会でした。



1階にある自動販売機で、飲みたいジュースを購入し、おやつの時間にいただきました。炭酸飲料や甘い飲み物を購入される方、大好きなコーヒーを購入される方など十人十色。皆さん、美味しくいただきました。



その他フロアレクとして、ハロウィン時には仮面をかぶっておやつをいただいたり、季節に応じた壁画作りをしています。細かい作業ですが、ご利用者様は根気強く作成しています。

